

# 三菱UFJ/AMP オーストラリア・ ハイインカム債券ファンド(毎月決算型) 〈愛称:カンガルー・ジャンプ〉

追加型投信/海外/債券



## ■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、購入時手数料(2.16%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ◎ご購入に際しては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」により商品内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

## ■お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
加入協会：日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は  
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券  
金融商品あっせん相談センターを利用します。  
全国銀行協会相談室 0570-017109 / 03-5252-3772  
証券金融商品あっせん相談センター 0120-64-5005  
受付時間：月～金曜日 / 9:00～17:00 (祝日・12/31～1/3等を除く)

## ■設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ともに、その先へ。



## ファンドの特色

### 1 オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を実質的な主要投資対象とします。

オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。ファンドの流動性等を勘案し、一部、国債等に投資する場合があります。

#### 劣後債、優先証券とは

- 劣後債、優先証券(以下、「ハイブリッド証券」という場合があります。 )は、債券と株式の両方の特性を有しており、上場または非上場となっています。
- ハイブリッド証券は一般に利息(配当)が定められており、満期時や繰上償還時に額面で償還される等、債券に似た性質を有しています。同一発行体が発行している普通社債とハイブリッド証券を比べると、ハイブリッド証券の弁済順位は普通社債に比べて低いという特徴などがあり、リスクは普通社債に比べてハイブリッド証券の方が高くなります。その一方で、ハイブリッド証券の方が普通社債よりも利回りが高く、また期待リターンも高くなります。

#### ■ ハイブリッド証券のイメージ



※弁済順位とは、発行体が経営破綻に陥った場合に、債権者等に対して残余財産を弁済する順位のことであり、弁済順位の高位のものから弁済されます。

- 上図はハイブリッド証券の特性を示したイメージ図であり、各証券の特性すべてを網羅するものではありません。

#### ■ 各ハイブリッド証券の概要

劣後債	発行体の経営破綻時に、弁済順位が普通社債よりも劣る分、普通社債と比べて利回りは高くなります。満期が定められている「期限付劣後債」と、満期が定められていない「永久劣後債」があり、永久劣後債は満期が定められていない分、一般的には期限付劣後債よりも利回りは高くなります。
優先証券	発行体の経営破綻時に、弁済順位が普通社債や劣後債よりも劣る分、普通社債や劣後債と比べて利回りは高くなります。配当や、会社の解散時に債務を弁済した後に残る財産に関する分配については、株式より優先されます。また発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息(配当)の支払いが停止される可能性があります。

### 2 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。

### 3 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドにつきましては、P7をご参照ください。

(注) 運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

### 4 原則として、為替ヘッジを行いません。

為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

### 5 毎月分配を行います。

毎月の決算時(7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。



# オーストラリアハイインカム債券の魅力

「オーストラリアハイインカム債券」とは、当ファンドが主たる投資対象とするオーストラリアの普通社債およびハイブリッド証券のことを表します。

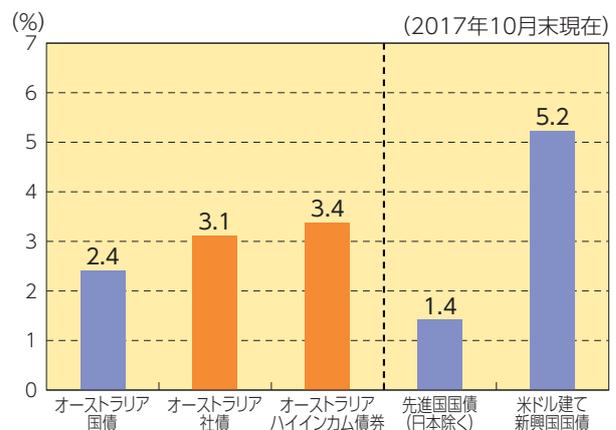
## 相対的に高い利回りを提供するオーストラリアハイインカム債券

- リーマン・ショック以降、オーストラリアの国債利回りも、他の先進国に比べ相対的に高い水準にあるとはいえ、低下傾向にありました。
- オーストラリアハイインカム債券の利回りは、日本を除いた先進国国債やオーストラリア国債を上回っており、魅力的な資産であると考えられます。

### ■ 国債の利回り推移



### ■ 各債券の利回り比較



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- オーストラリアハイインカム債券の利回りは、ファンドのポートフォリオの最終利回りを使用しています。最終利回りについては、P8をご参照ください。
- 各資産は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

(出所) AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド、BofAメリルリンチ、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

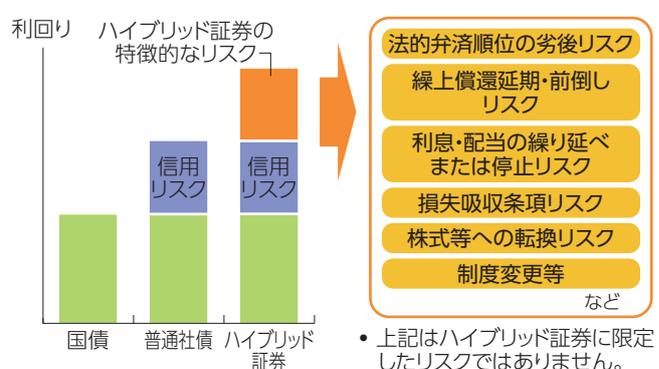
- リーマン・ショックなど世界的な金融危機の影響で、オーストラリア社債のスプレッド(利回り格差)は一時拡大しましたが、2017年10月末現在では過去平均を下回る水準にあります。

- 普通社債は発行体の信用リスクを反映し、またハイブリッド証券については発行体の信用リスクに加えハイブリッド証券の特徴的なリスクを反映し、金利が上乘せ(スプレッド)されています。

### ■ オーストラリア社債のスプレッド(利回り格差)



### ■ ハイブリッド証券の利回りのイメージ



- 上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数についてはP7をご覧ください。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。
- 当ファンドが投資対象とするハイブリッド証券は一般に市場における流動性が普通社債等に比べ低くなります。

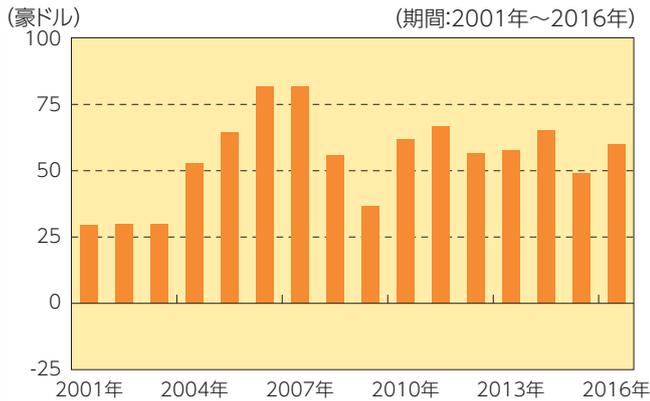


# オーストラリア社債市場

## オーストラリア企業の収益力と民間投資の推移

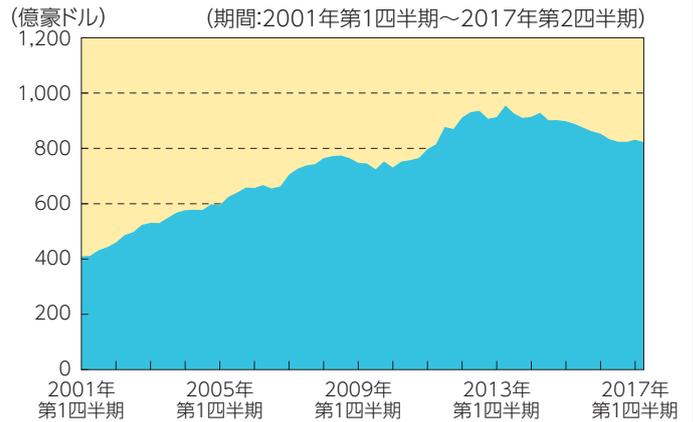
- リーマン・ショックの影響でオーストラリア企業の1株当たり利益 (EPS) は減少に転じましたが、その後は底堅く推移しています。一方、オーストラリアの民間投資 (住宅投資、設備投資等) は足下、鈍化傾向にあります。

### ■ オーストラリア企業の1株当たり利益 (EPS) の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### ■ オーストラリアの民間投資の推移

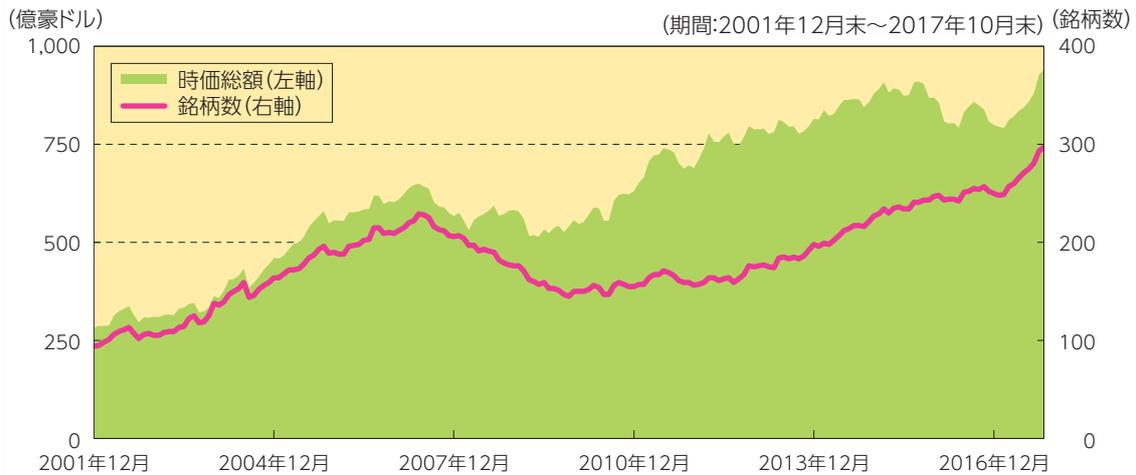


(出所) オーストラリア統計局のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## 拡大するオーストラリア社債市場

- 堅調な個人消費などを背景にオーストラリア経済は相対的に高い成長が見込まれており、企業の資金調達ニーズは根強いと考えられます。こうした状況を背景に、オーストラリア社債市場は概ね拡大傾向にあります。

### ■ オーストラリア社債の市場規模と指数構成銘柄数



(出所) BofAメリルリンチのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数についてはP7をご覧ください。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

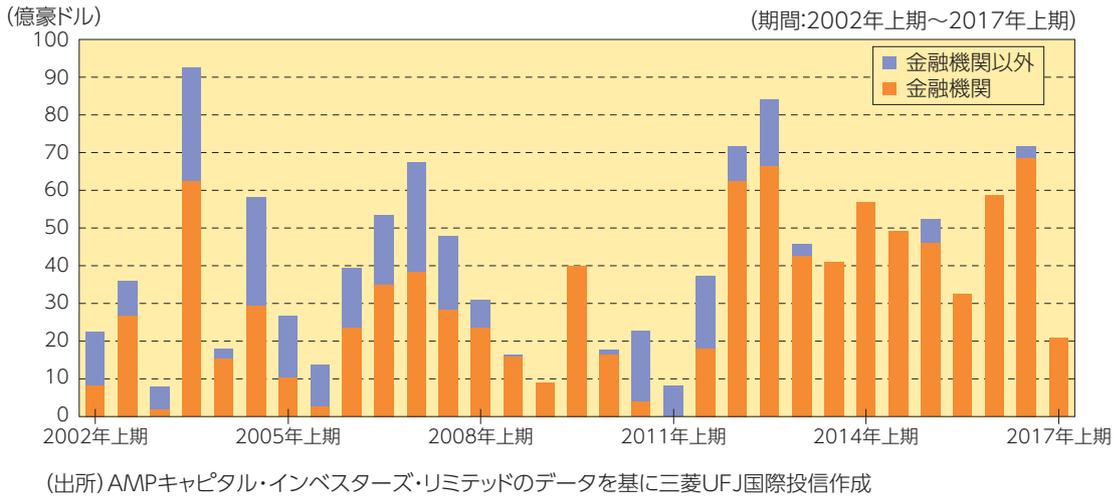


# オーストラリアハイブリッド証券

## オーストラリアハイブリッド証券市場について

- オーストラリアハイブリッド証券市場における金融機関の割合は、一定のシェアを占めています。

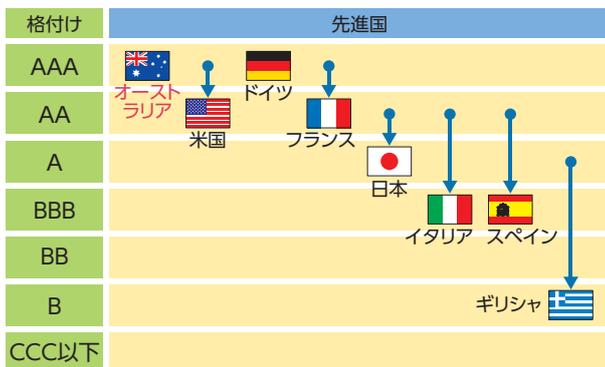
### オーストラリアハイブリッド証券市場の発行額の推移



## 金融システムの高い安定性

- 主要先進国の財政に対する懸念等から格下げが相次ぐなか、オーストラリアの国債は依然として最上級の信用力を有しています。
- オーストラリアの金融機関の格付けも主要国の金融機関と比べ相対的に高く、その安定性がうかがえます。

### 先進国の格付けの変化



上記は、S&Pによる各国国債の自国通貨建長期信用格付けについて、2001年12月末と2017年10月末を比較した変化を矢印で示しています。(+, -の付加記号は省略しています。)

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### 各国金融機関の格付け

(2017年10月末現在)

	国名	S&P	Moody's
オーストラリア・コモンウェルス銀行	オーストラリア	AA-	Aa3
ウエストパック銀行	オーストラリア	AA-	Aa3
ANZ銀行グループ	オーストラリア	AA-	Aa3
ナショナルオーストラリア銀行	オーストラリア	AA-	Aa3
ウェルズ・ファーゴ	米国	A	A2
JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	米国	A-	A3
BNPパリバ	フランス	A	Aa3
HSBCホールディングス	英国	A	-
中国工商銀行	中国	A	-

- 上記はS&Pによる各金融機関の発行体格付け、Moody'sによる各金融機関の発行体格付けまたは長期格付けを使用しています。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- 上記格付けは、他の信用格付け会社の信用格付けとは異なる場合があります。今後、各国の政治経済環境により格付けは変更されることがあります。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- 上記銘柄および情報は、各国の金融機関をご参考のために紹介したものです。当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。また個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

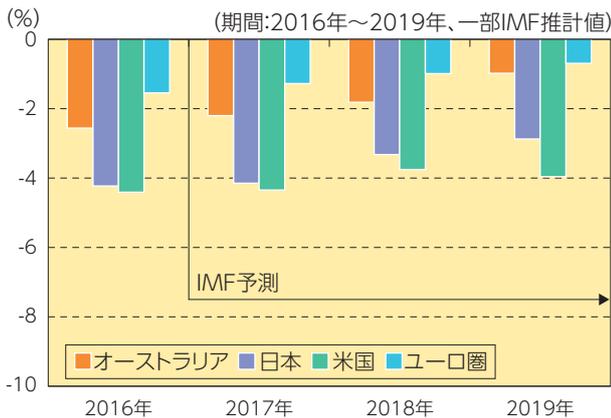


# 安心感のあるオーストラリア経済

## 高い健全性と成長性

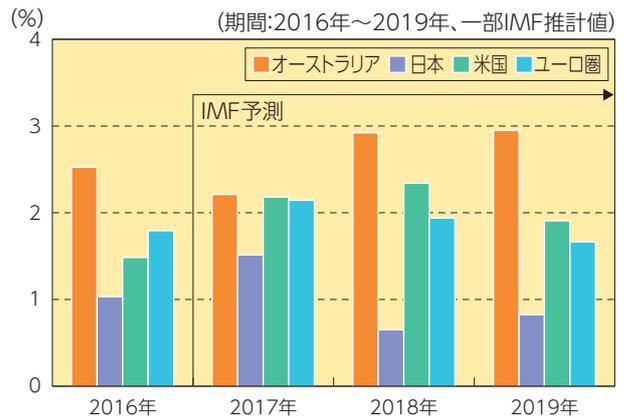
●主要先進国・地域では、巨額の財政赤字を抱え、財政危機が懸念されている一方、オーストラリアの財政状況は相対的に健全です。また、成長率に関しても、日本やユーロ圏は今後も低成長が続くと考えられるなか、オーストラリアは人口の増加や豊富な資源等を背景に相対的に高い経済成長が見込まれています。

### ■ 財政収支(対GDP比)



(出所) IMF World Economic Outlook Database October 2017 のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### ■ 実質GDP成長率



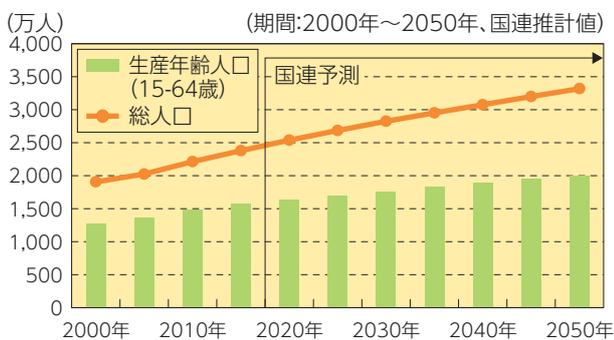
(出所) IMF World Economic Outlook Database October 2017 のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## 経済のツインエンジン① ~力強い内需拡大~

●オーストラリアの人口は移民政策等により増加傾向にあります。人口増加率は他の主要国を上回ると見込まれており、今後も個人消費の拡大が期待されます。

●オーストラリアと米国の個人消費は伸びていますが、オーストラリアはリーマン・ショックの影響がほとんど見受けられず、堅調に推移しています。

### ■ オーストラリアの人口の推移



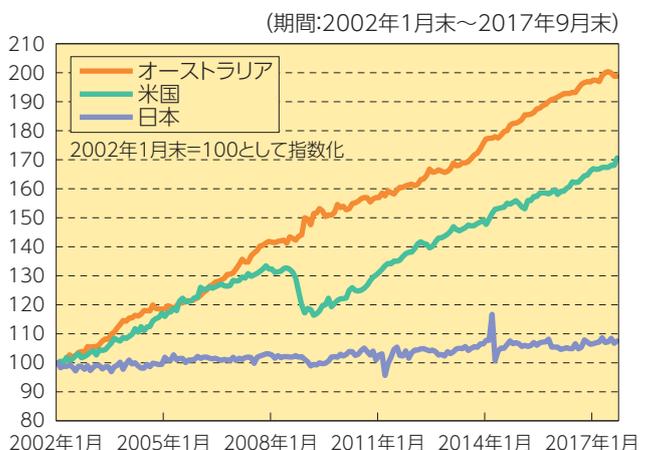
#### 【ご参考】 主要国の人口増加率見通し

(2000年から2050年にかけての人口増加率) (単位:%)

オーストラリア	インド	米国	ブラジル	中国	ロシア	日本
74.1	57.5	38.2	32.7	6.3	-9.3	-14.7

(出所) 国連「World Population Prospects: The 2017 Revision」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### ■ 小売売上高の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

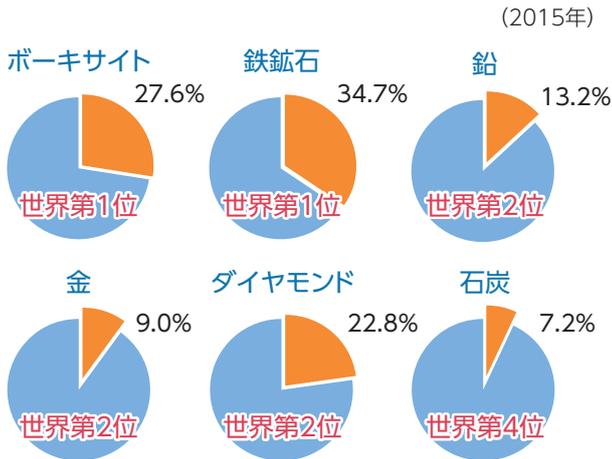


# 安心感のあるオーストラリア経済

## 経済のツインエンジン② ～豊富な資源と堅調な対外輸出～

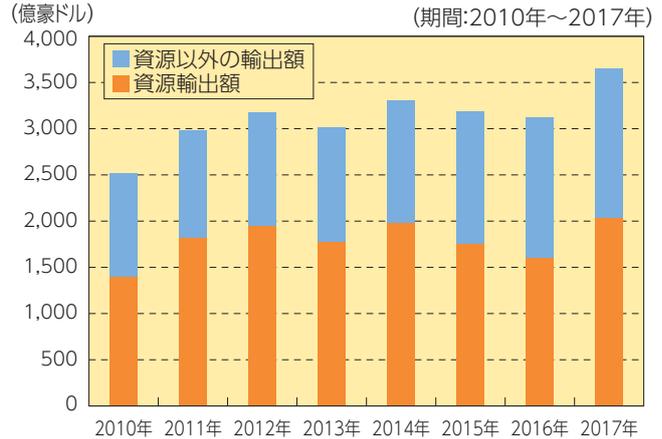
●オーストラリアは鉱物資源やエネルギー資源に恵まれた世界有数の資源国であり、輸出に占める資源の割合が高いのが特徴です。

### ■主な天然資源の生産量



(出所) USGS 「MINERAL COMMODITY SUMMARIES 2017」、BP統計のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### ■オーストラリアの輸出額

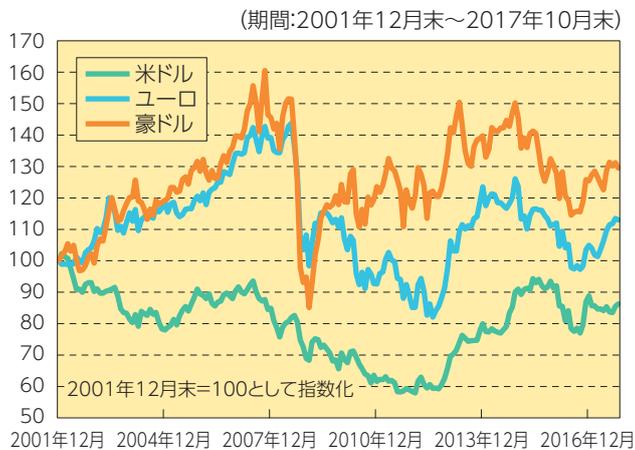


●各年の輸出額は、各年6月末までの1年間の数値  
(出所) オーストラリア産業科学省のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## オーストラリアドルの推移

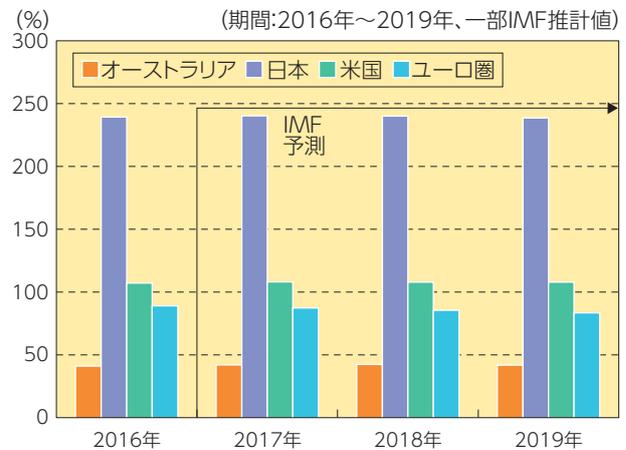
- オーストラリアドルは、リーマン・ショック直後は大きく下落したものの、相対的に高い経済成長や金利水準等を背景に、底堅い動きとなっています。
- オーストラリアの政府総債務残高は相対的に小さいことから、主要先進国・地域の財政危機が懸念されるなか、オーストラリアドルの選好要因になると期待されます。

### ■主要通貨の推移 (対円)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

### ■政府総債務残高 (対GDP比)



(出所) IMF World Economic Outlook Database October 2017のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

●上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。



# AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドについて

債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

## AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドについて



- オーストラリアを代表する総合金融グループであるAMPグループの一員で、オーストラリア最大規模の運用会社です。
- オーストラリアにおける大手運用会社として約1,789億豪ドル(約15.4兆円)※の資産を運用しています。
- 債券・株式に加え、インフラ、不動産といった実物資産クラスへの豊富な投資経験を有しています。
- オーストラリアにおいて20名を超える債券運用チームを有し、特にクレジット運用に強みを持ちます。



## AMPグループについて



- 1849年設立。オーストラリアにおけるリテールおよび企業年金サービス提供者の最大手の一角として、Superannuation(退職年金)や投資ファンドを含めた幅広い金融商品や金融サービスを提供する金融機関です。
- 従業員:約5,600人、フィナンシャル・プランナー数:約3,400人※
- 預かり資産:約2,470億豪ドル(約21.3兆円)※

※2017年6月末現在、使用為替レートは1豪ドル=86.18円

(出所) AMPキャピタルの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

### AMP キャピタル ホールディングス ～三菱UFJ信託銀行との提携～

2011年12月、三菱UFJ信託銀行はAMP Capital Holdings Limitedへの出資および業務提携を発表しました。

AMP Capital Holdings LimitedはAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの持株会社であり、三菱UFJ信託銀行は同社の優れた運用ノウハウを活かした投資商品を共同で開発し、三菱UFJフィナンシャル・グループ傘下各社との協働を通じ、広くお客さまに商品を提供してまいります。

### 【本資料で使用している指数について】

- **オーストラリア株式【MSCI オーストラリア インデックス】** MSCI オーストラリア インデックスとは、MSCI Inc.が開発したオーストラリアの株価指数です。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- **オーストラリア社債【BofAメリルリンチ オーストラリア社債インデックス】** BofAメリルリンチ オーストラリア社債インデックスとは、BofAメリルリンチが算出するオーストラリア国内で発行されたオーストラリアドル建ての投資適格社債の値動きを表す指数です。同指数に関する知的所有権、その他一切の権利はBofAメリルリンチに帰属します。BofAメリルリンチは同指数を参照して行われる当社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- **米ドル建て新興国債【JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド】** JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の債券発行残高に応じて構成比率を調整した指数です。
- **先進国国債(日本除く)【シティ世界国債インデックス(除く日本)】** シティ世界国債インデックス(除く日本)とは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- **各国の国債について【シティ世界国債インデックス(各国別)】** 各国の国債は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。

J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーの指数、「信用格付会社等の提供する格付け等の情報」に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)でご確認ください。



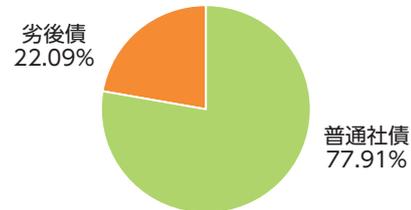
# ファンドの運用実績

最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認いただけます。  
(2017年10月31日現在)

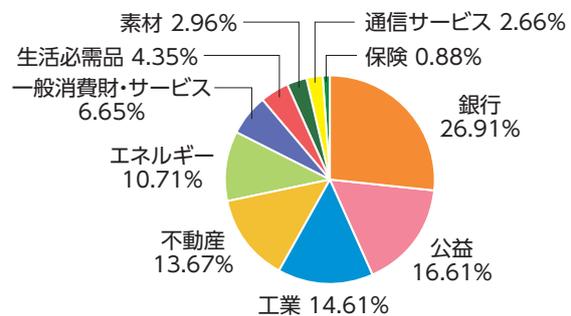
## ■ ポートフォリオ特性

最終利回り	3.37%
デュレーション	3.63年
平均格付け	BBB+

## ■ 種別組入比率



## ■ 組入債券の業種別組入比率



・比率は現物債券評価額に対する割合です。なお、純資産総額に対する現物債券組入比率は97.18%です。

## ■ 格付け別組入比率

格付け種類	比率
AAA格	1.85%
AA格	9.72%
A格	27.55%
BBB格	52.85%
BB格以下	5.20%
無格付け	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

## ■ 債券組入上位5銘柄

(組入銘柄数:55銘柄)

銘柄	業種	組入比率	銘柄紹介
National Australia Bank Ltd (ナショナル・オーストラリア銀行)	銀行	4.59%	国際的な銀行グループ。オーストラリア国内をはじめ、ニュージーランド、欧州、アジア、米国で事業を展開。
APT Pipelines Ltd (APTパイプラインズ)	エネルギー	4.52%	エネルギー・インフラ・プロジェクトへの投資も手掛ける天然ガス輸送会社。
Westpac Banking Corp (ウエストパック銀行)	銀行	3.42%	総合銀行業務および貯蓄銀行業に従事。投資ポートフォリオの運用管理と顧問業務、保険サービス、消費者金融、マネーマーケット関連サービスなどを個人、業界、企業向けに世界中で提供する。
AUST and NZ Banking Group (ANZ銀行グループ)	銀行	3.34%	一般銀行業務、不動産担保貸付、賦払い貸付、生命保険、リース、分割払い購入、一般融資などを主な業務とする国際銀行。
Stockland (ストックランド)	不動産	2.98%	オーストラリアの総合不動産グループ。物流センター、ショッピングセンター、オフィスビル、タウン開発など事業内容は多岐にわたる。

・比率は純資産総額に対する割合です。

(出所) AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- ・最終利回りは、個別債券ごとの複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・最終利回り、デュレーションは、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース（債券先物を含む）のものです。個別債券ごとに、繰上償還条項が付与されている銘柄は原則として直近の繰上償還予定日、それ以外は償還日を使用して計算しています。
- ・平均格付けとは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付けではありません。
- ・格付け別組入比率は、原則として、個別銘柄格付けを採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、三菱UFJ国際投信の分類基準に基づいて、ソブリン格付け（国の発行体格付け）を採用しているものがあります。格付けの表示にあたっては、S&P、Moody's、Fitchの3社のうち2番目に高い格付けを採用します。2社の格付けのみの場合には、低い方の格付けを採用、1社の格付けのみの場合にはその格付けを採用します。3社の格付けを取得していない場合は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが独自に判断した格付けです。
- ・業種分類、業種名は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが債券の発行体企業（保証会社）について独自に分類したものです。
- ・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

# 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

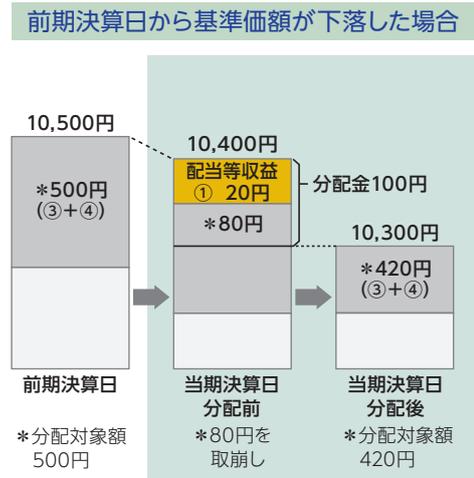
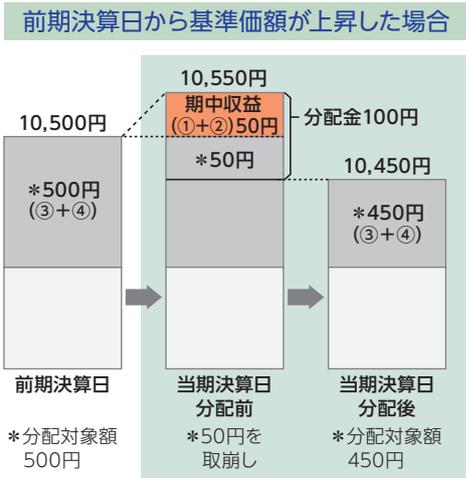
## 投資信託から分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



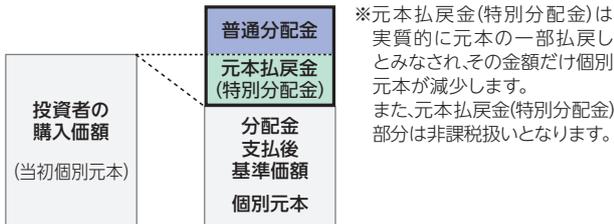
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

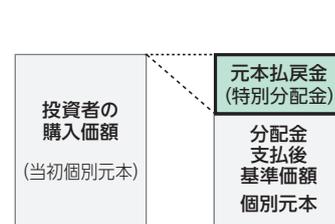
収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

## 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



## 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

# 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

## [金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

## [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

# 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します**。したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります**。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

## 価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

## 為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

## 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

(金融機関の実質的な破たんに関するリスク)

金融機関の破たん処理等に関し、株主だけでなく債権者にも損失負担を求める措置(ベイル・イン)に関する法制度が導入される国・地域においては、監督当局により実質破たん状態にあると認定された金融機関について、劣後債や優先証券、普通社債等についても元本の一部もしくは全部の削減や、発行体の普通株式への転換等、損失吸収措置がとられる可能性があり、この場合にはファンドの基準価額が大きく下落する要因となります。

## 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、ファンドが組み入れる劣後債および優先証券等は、一般の公社債と比べ市場規模が小さく、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

劣後債および優先証券等(以下、「ハイブリッド証券」といいます)への投資には次のような特徴があり、価格変動・信用・流動性の各リスクは普通社債への投資と比較して相対的に大きいものとなります。

(法的弁済順位の劣後)

一般的にハイブリッド証券の法的弁済順位は株式に優先し、普通社債に劣後します。したがって、発行体が経営破たん等に陥った場合、普通社債等の元金金が支払われてもハイブリッド証券は元金金の支払いを受けられないことがあります。また、発行体が経営不安、倒産、国有化などに陥った場合には、ハイブリッド証券の価値が大きく減少すること、または無くなることがあり、この場合にはファンドの基準価額が大幅に下落することがあります。さらに、ハイブリッド証券は、一般的に同一発行体の普通社債と比較して低い格付けが格付機関により付与されています。

(繰上償還の延期・前倒し)

一般的にハイブリッド証券には、繰上償還(コール)条項が付与されており、この繰上償還の実施は発行体が決定することとなっています。繰上償還されることを前提として取引されている証券もあり、これらの証券が市場で予想されていた期日に繰上償還が実施されない場合、あるいは実施されないと見込まれる場合、また市場で予想されていた期日以前に償還される場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

(利息・配当の繰り延べまたは停止)

利息または配当の支払い繰り延べ条項を有するハイブリッド証券は、発行体の財務状況や収益動向等の要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。この場合、期待される利払いや配当が得られないこととなり、ハイブリッド証券の価格が下落する可能性があります。

(損失吸収条項)

金融機関が発行するハイブリッド証券の中には、監督当局により実質破たん状態にあると認定された場合等に元本の一部もしくは全部が削減される、または発行体の普通株式に転換されるなどの損失吸収条項が付与されているものがあります。損失吸収条項に該当した場合、ハイブリッド証券の価格は大きく下落することがあります。

(株式等への転換)

一部のハイブリッド証券には、発行体の判断で実質的に株式等に転換する条項が付与されている場合があります。これらの証券が転換される、もしくは転換されると見込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落することがあります。

(制度変更等)

将来、ハイブリッド証券にかかる税制の変更や、当該証券市場にとって不利益な制度上の重大な変更等があった場合には、税制上・財務上のメリットがなくなるか、もしくは著しく低下する等の事由により、投資成果に悪影響を及ぼす可能性があります。

ファンドは、格付けの低い投資適格未満の普通社債、劣後債および優先証券等に投資する場合があります。格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

## ■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

## ■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

# 愛称: カンガルー・ジャンプ

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

## お申込みメモ

**購入時**  
**購入単位**  
分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位  
購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。  
くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。

**購入価額**  
購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
※基準価額は1万口当たりで表示されます。

**換金時**  
**換金単位**  
1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。

**換金価額**  
換金申込受付日の翌営業日の基準価額

**換金代金**  
原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。

**申込について**  
**申込不可日**  
次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。  
・シドニー先物取引所、シドニーの銀行の休業日  
・シドニーにおける債券市場の取引停止日

**申込締切時間**  
原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。

**換金制限**  
ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

**購入・換金申込受付の中止および取消し**  
金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けられた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。

**信託期間**  
2022年10月7日まで(2012年12月7日設定)

**繰上償還**  
受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。

**決算日**  
毎月7日(休業日の場合は翌営業日)

**収益分配**  
毎月の決算時に分配を行います。  
ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。  
収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。  
収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。  
※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。

**課税関係**  
課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

## ファンドの費用

◎お客様が直接的に負担する費用

<b>購入時</b>	<b>購入時手数料</b>	購入金額(購入価額×購入口数)× <b>2.16%(税抜 2%)</b> で得た額 ※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。
<b>換金時</b>	<b>信託財産留保額</b>	ありません。

◎お客様が信託財産で間接的に負担する費用

<b>運用管理費用(信託報酬)</b>	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.512%(税抜年率1.4%)</b> をかけた額
<b>保有期間中</b>	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
<b>その他の費用・手数料</b>	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。  
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

**三菱UFJ国際投信株式会社**

**お客様専用フリーダイヤル 0120-151034**  
(受付時間/営業日の9:00~17:00)  
●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

販売会社(購入・換金の取扱い等)

**株式会社三菱UFJ銀行 他**

販売会社は、上記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

## 本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。 ●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 ●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。 ●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。 ●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。